

候補地の抽出（10箇所程度）について

「候補地選定指針」、「候補地評価基準」に基づいて、以下のとおり第1次抽出、第2次抽出を実施し、候補地を抽出しましたので報告します。

(1) 第1次抽出：不適地除外

第1次抽出では、最終処分場の立地が困難な法令による規制を受ける地域等を除外するため、「候補地選定指針」に基づき、以下の区域を不適地として除外しました。

不適地として除外する箇所

- ・文化財保護法の規定による史跡、名勝及び天然記念物の指定区域
- ・埋蔵文化財包蔵地
- ・自然公園地域及び自然環境保全地域
- ・洪水ハザードマップによる浸水想定区域
- ・ため池ハザードマップによる浸水想定区域
- ・飲料水源への影響のおそれのある区域（浄水場の上流1km以内*と定義）

※「地下水汚染の未然防止のための構造と点検・管理に関する指針・マニュアル 平成25年6月 環境省」において、地下水汚染が到達する可能性が高いとされている距離

除外する区域を示した位置図を別紙1に示します。

(2) 第2次抽出：10箇所程度を抽出

第2次抽出では、「候補地評価基準」で定めたとおり“市全域から条件に合致する箇所をすべて抽出すること”を基本として、以下の流れで確認を行いました。

それぞれの確認結果を次頁に示します。

ア 市全域から抽出（平坦地、谷地形を市全域から抽出）	227箇所
イ 勾配、面積の確認（敷地条件における勾配、面積を満足する候補地を抽出）	121箇所
ウ 候補地の採点（「候補地選定基準」に基づいた採点を行い、得点の高い順に上位10位の候補地を抽出）	25箇所

ア 市全域から抽出

まずは、第1次抽出（不適地除外）後の地域から平坦地、谷地形を市全域から抽出します。抽出した候補地は227箇所ありました。それぞれの位置図を別紙2に示します。

イ 勾配、面積の確認

抽出した227箇所の候補地について、敷地条件における勾配と面積を確認します。確認した結果、敷地条件を満足する候補地は、121箇所となりました。確認結果の詳細を別紙3に示します。

表1 敷地条件

評価項目	評価区分
地形	平坦地、谷地形
勾配	縦断 15%以下
必要最低面積	3ha 以上（埋立地 1期あたりの敷地）

ウ 候補地の採点

抽出した121箇所の候補地は、「候補地評価基準」に基づき、以下のとおり採点します。採点結果は別紙4、その関係資料は別紙5～8のとおりです。

表2 第2次抽出での採点

評価項目	評価区分	配点	
法規制の有無 （土地利用計画）	法規制がない	3.0	
	候補地内に規制がある	1.0	
法規制の有無 （自然環境保全）	法規制がない	6.0	
	候補地内に規制がある	0.0	
法規制の有無 （防災面）	法規制がない	4.0	
	候補地内に規制がある	0.0	
表層地質 ^{※1}	洪積層である（1万年以上前に形成され、安定した地層）	4.0	
	沖積層である（1万年から現在までに形成された地層）	2.0	
地震発生時 の揺れ	活断層 ^{※2} による地震	活断層による地震発生時の震度5弱以下	4.0
		活断層による地震発生時の震度5強	3.0
		活断層による地震発生時の震度6以上	2.0
	市直下型 ^{※3} 地震	市直下型地震発生時の震度5弱以下	4.0
		市直下型地震発生時の震度5強	3.0
		市直下型地震発生時の震度6以上	2.0
液状化 ^{※3}	液状化リスク判定0（液状化の危険度は極めて低い）	4.0	
	液状化リスク判定 $0 < PL^{※4} \leq 5$ （液状化の危険度は低い）	3.0	
	液状化リスク判定 $5 < PL^{※4} \leq 15$ （液状化の危険度がやや高い）	2.0	
面積	3ha 以上 ^{※5}	10.0	

※1 国土数値情報 国土交通省

※2 「中国地域の活断層の長期評価（第一版）」で評価対象となった活断層で発生する地震の予測震度分布
平成28年12月 地震調査研究推進本部事務局（文部科学省）

※3 広島県地震被害想定調査報告書 平成25年10月

※4 PLとは、地下水の深さや地震のせん断力に対する地盤強度等から算定される液状化指数のことであり、液状化発生の可能性評価に用いられる。

※5 候補地面積が6.0ha以上で10.0点、4.5ha以上で6.7点、3.0ha以上で3.3点とする。

採点した結果、上位 10 位（同率順位含む）となる候補地は、以下の 25 箇所となりました。

25 箇所の候補地は、防災面の法規制があり、表層地質や地震発生時の揺れ、液状化にリスクを有する箇所が含まれていますが、いずれも自然環境保全の法規制が無い箇所となっています。

表 3 上位 10 位（同率順位含む）となる候補地の点数集計

候補地		法規制の有無			表層地質	地震発生時の揺れ		液状化	面積	合計	順位
		土地利用計画	自然環境保全	防災面		活断層	市直下				
No. 223	三和町上板木	3.0 点	6.0 点	4.0 点	4.0 点	4.0 点	4.0 点	4.0 点	10.0 点	39.0 点	1 位
No. 224	三和町上板木	1.0 点	6.0 点	4.0 点	4.0 点	4.0 点	4.0 点	4.0 点	10.0 点	37.0 点	2 位
No. 38	君田町東入君	3.0 点	6.0 点	4.0 点	4.0 点	4.0 点	3.0 点	2.0 点	10.0 点	36.0 点	3 位
No. 159	三和町福田	1.0 点	6.0 点	4.0 点	4.0 点	4.0 点	3.0 点	4.0 点	10.0 点	36.0 点	3 位
No. 203	三和町上板木	1.0 点	6.0 点	4.0 点	4.0 点	4.0 点	3.0 点	3.0 点	10.0 点	35.0 点	4 位
No. 213	三和町上老	1.0 点	6.0 点	4.0 点	2.0 点	4.0 点	4.0 点	4.0 点	10.0 点	35.0 点	4 位
No. 80	三良坂町三良坂	3.0 点	6.0 点	4.0 点	4.0 点	2.0 点	3.0 点	2.0 点	10.0 点	34.0 点	5 位
No. 146	上田町	1.0 点	6.0 点	4.0 点	2.0 点	3.0 点	4.0 点	4.0 点	10.0 点	34.0 点	5 位
No. 150	下志和地町	3.0 点	6.0 点	0.0 点	4.0 点	4.0 点	3.0 点	4.0 点	10.0 点	34.0 点	5 位
No. 225	三和町大力谷	1.0 点	6.0 点	4.0 点	4.0 点	4.0 点	4.0 点	4.0 点	6.7 点	33.7 点	6 位
No. 13	布野町横谷	1.0 点	6.0 点	0.0 点	4.0 点	4.0 点	4.0 点	4.0 点	10.0 点	33.0 点	7 位
No. 145	吉舎町檜	1.0 点	6.0 点	4.0 点	4.0 点	3.0 点	4.0 点	4.0 点	6.7 点	32.7 点	8 位
No. 44	穴笠町	1.0 点	6.0 点	4.0 点	4.0 点	4.0 点	2.0 点	4.0 点	6.7 点	31.7 点	9 位
No. 88	廻神町	1.0 点	6.0 点	4.0 点	4.0 点	3.0 点	3.0 点	4.0 点	6.7 点	31.7 点	9 位
No. 114	甲奴町西野	1.0 点	6.0 点	4.0 点	4.0 点	3.0 点	4.0 点	3.0 点	6.7 点	31.7 点	9 位
No. 122	甲奴町宇賀	1.0 点	6.0 点	4.0 点	4.0 点	3.0 点	4.0 点	3.0 点	6.7 点	31.7 点	9 位
No. 167	甲奴町小童	1.0 点	6.0 点	4.0 点	4.0 点	3.0 点	4.0 点	3.0 点	6.7 点	31.7 点	9 位
No. 168	甲奴町小童	1.0 点	6.0 点	4.0 点	4.0 点	3.0 点	4.0 点	3.0 点	6.7 点	31.7 点	9 位
No. 198	三和町敷名	3.0 点	6.0 点	0.0 点	4.0 点	4.0 点	4.0 点	4.0 点	6.7 点	31.7 点	9 位
No. 207	三和町羽出庭	1.0 点	6.0 点	4.0 点	4.0 点	4.0 点	3.0 点	3.0 点	6.7 点	31.7 点	9 位
No. 39	君田町東入君	3.0 点	6.0 点	4.0 点	4.0 点	4.0 点	3.0 点	4.0 点	3.3 点	31.3 点	10 位
No. 46	山家町	3.0 点	6.0 点	4.0 点	4.0 点	4.0 点	3.0 点	4.0 点	3.3 点	31.3 点	10 位
No. 87	廻神町	3.0 点	6.0 点	4.0 点	4.0 点	4.0 点	3.0 点	4.0 点	3.3 点	31.3 点	10 位
No. 89	廻神町	3.0 点	6.0 点	4.0 点	4.0 点	4.0 点	3.0 点	4.0 点	3.3 点	31.3 点	10 位
No. 157	上川立町	3.0 点	6.0 点	4.0 点	4.0 点	4.0 点	3.0 点	4.0 点	3.3 点	31.3 点	10 位

(3) 第3次抽出に進める候補地について

25箇所候補地のうち、第3次抽出に進める候補地は、今後、航空写真の情報や現場調査等により、明らかに最終処分場の整備が困難な箇所を除外していきます。

以上